ゆとりあは、新潟市からの補助を受けて運営しております

第 47 号

ゆとりあん

発行日 平成３１年　２月　25 日

社会福祉法人新潟しなの福祉会

地域生活支援センター「ゆとりあ」

〒950-0083

新潟市中央区蒲原町７-１東地区総合庁舎２F

TEL 025(240)8000　FAX 025(240)8111

相談専用 TEL 025(248)7170

E-Mail：yutoria@sweet.ocn.ne.jp

URL:http://www.shinano-niigata.sakura.ne.jp/

★★★ お知らせ ★★★	
３月６日（水）は法人会議のため、閉館時間が早まります。【17:30 閉館】	
３月２９日（金）は場所を変えて延長開館を行います。（詳細は後日報告いたします）	
３月３０（土）は施設職員研修のためお休みです。	
★★★　３月の予定・みそ汁の会　★★★	
座　談　会	３／２（土）　１３：３０～
みそ汁の会　●毎週土曜日の開催	３／２日（土）９日（土）１６日（土）２３日（土）

◆◆◆　３月７日（木）の午前中に職員会議を開きます。３月６日（水）は中止です。　◆◆◆

精神障がい者ホームヘルパー講習会　ご報告

１月２７日（日）に新潟市総合福祉会館にて、精神障がい者ホームヘルパー講習会を開催しました。
天候やインフルエンザの流行が心配される中、ヘルパー事業所、地域活動支援センターや就労継続支援Ｂ型事業所、居宅介護支援事業所、行政関係など様々な分野、職種の皆様からご参加いただきました。

午前の部では、医療法人崇徳会顧問　こころのクリニックウィズ所長　　後藤雅浩医師より「精神疾患と精神障がいについて～精神病の基礎知識と関わり方の視点～」と題して、講義をしていただきました。

午後からは、実際にサービスを利用されている当事者の方からのお話をきき、後半はワールドカフェ方式でグループワークを行いました。カフェのような和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく学び、考える時間になりました！

～アンケートより～

・精神疾患について、教科書で見ただけでは理解できない部分を学べたので勉強になりました。
・多職種の方の意見を聞くことができ、様々なことに気付かされました。自分の役割も再確認することができたように感じます。
・ホームヘルパーを利用されている方と、ヘルパーさん両方からじっくりお話をうかがうことができて大変勉強になりました。

ゆとりあの節分

２月３日は節分の日。ゆとりあでは一足先の２日に豆まきを行いました。

「年男が鬼？」

「いやいや、年男は豆を投げる方だよ」そうして決まった鬼がひょっこり登場！

ポーズが決まったところで、

「鬼は～外！！福は～内！！」

存分に追い払ったあとは、鬼も交えてみんなで撒いた豆を美味しく頂きました。

今年はスタッフ･利用者合作の恵方巻も登場し、一年の無病息災を願いました。

今月の壁面ギャラリー

２月の壁面ギャラリーは、節分と雪見温泉をテーマに、多彩な表情の鬼と猿が勢ぞろいしました。

利用登録･更新のお知らせ

ゆとりあを利用していただくにあたり、利用者の皆様には利用登録をお願いしています。

利用登録は年度ごとの更新となりますので、現在登録されている皆様も更新の手続きが必要となります。

更新についての詳しい内容は、改めてゆとりあ内でお知らせ、またスタッフよりお声がけさせていただきます。

新規登録、見学につきましては随時受け付けておりますので、お気軽にお問合せください。

みかんをいただきました

ながみね農業協同組合様、蔵出しみかんブランド推進連絡協議会様よりみかんを寄贈していただきました。

食べた瞬間「甘くて美味しい！」という声が飛び出しみんなで美味しくいただきました。

ありがとうございました。

みかんは冷凍みかんとして春先にお目見えできるかも！？

どうぞお楽しみに！

スキー場で学んだこと。。。

スキー場には毎年行っているが、3 年ぶりくらいになるのかリフトに乗ってスキーをした。新潟市に来る前は、毎年のように週末にスキーをしていたくらい行っていたがここ 3 年はスキー場へ行ってもソリか雪遊び！！スキーをしたいなと思う時もあったが、スキー場へ行っても滑れない環境であったのでなくなく帰るような状況でした。今年は、息子がスキースクールに入りなんと約 1 時間半でリフトに乗り、リフト 1 本分滑ることができていました。スキーをすることに消極的で、「スキーなんて滑れる！」と言っていた息子（一度もスキーやったことないのに・・・）。スクールのスタッフの方の教え方が上手で一部始終見ているとスキーは最初から履くことなく、雪の上を走ったりして楽しい遊びから始め徐々に片足からスキーを履いていました。まずは雪に慣れる事から始め楽しいと思わせてからスキーを履かせスキーの面白さを教えていました。さすがプロ！！と思いながら見ていました。かなりの至近距離で見ていたのでインストラクターはとても嫌だったと思いますが・・・。体験も失敗ばかりしていると嫌になるものですよね。スキーのインストラクターのようにまずは成功体験させる方法から初めて行くことでこの体験は楽しいとインプットすることが大事なんだと改めてインストラクターの動きを見ていて思いました。一日良い勉強になりました。

寒い時期で外へ足が向かない時期ですが、この時期だから楽しい場所もあると思いますので、積極的にとは言いませんが外出をしてみて新しい発見をしてみてください。

すゞき（一）